

2022年米国最大のトピック 米国中間選挙の争点と日本企業に与える影響について

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

(株)電通PRコンサルティング(本社:東京都港区、代表取締役社長執行役員 牧口征弘)は、2022年10月24日16時より、2022年米国最大のトピックである中間選挙に先んじて、元共同通信記者でニューヨーク在住の国際ジャーナリストの津山恵子氏を特別講師としてお招きし、中間選挙の争点や日本および日本企業に与える影響、現地発の最新米国トレンド情報などをお話しいただくセミナーを開催する運びとなりました。

2018年のトランプ政権時にも大きな注目を集めた中間選挙の動向は、日本を含めた世界に大きな影響をもたらします。米国内では深刻なインフレが国民生活を圧迫していることもあり、金融政策・経済対策が大きな争点となるのはもちろん、米国内の社会 이슈 に関して、グローバル化する日本企業が把握したいポイントです。一方で日本国内に目を移すと、歴史的な円安や世界的なエネルギー価格高騰の余波を受けており、日本企業に影響を与える米国の経済政策の動向はますます注視する必要があります。

今回のオンラインセミナーでは津山恵子氏にご講演いただいた後、質疑応答のセッションにて皆さまからのご質問にお答えいただく予定です。ご多忙の折とは存じますが、皆さまのご参加をお待ちしております。

謹白

日時

10月24日(月) 16:00~17:20 予定

セミナー形式

オンラインセミナー (Zoom)

※参加申し込みいただいた方へ、開催前日にアクセス方法を別途ご案内いたします。

登壇者

講演: 国際ジャーナリスト 津山 恵子氏

モデレーター: 電通PRコンサルティング シニア・チーフ・コンサルタント
許 光英

セミナー内容

ご挨拶 (5分)

電通PRコンサルティング 常務執行役員 国田 智子

講演: 「米国中間選挙の争点と日本企業への影響」 (50分)

- ①米国中間選挙の見通し~バイデン政権はどうなる?
- ②米国の社会・経済~足元の状況はどうなっているのか?
- ③日本および日本企業に与える影響 など

質疑応答 (20分)

電通PRCのパブリックアフェアーズ・プログラムのご紹介 (5分)

※当日の進行上、順番が前後する場合があります。ご了承ください。

津山 恵子 (つやま けいこ)

国際ジャーナリスト (在ニューヨーク)

元共同通信社経済部記者。2003年、特派員としてニューヨーク勤務。2006年、フリーランスに転向。現在は「朝日新聞 『津山恵子のメディア私評』」「AERA」「ビジネスインサイダー・ジャパン」などに、米社会・経済について幅広く執筆。

近著は「現代アメリカ政治とメディア」（共著、東洋経済新報社）、「教育超格差大国」アメリカ（扶桑社）など。

2014年より、海外に住んで長崎からの平和のメッセージを伝える長崎平和特派員。

東京外国語大学フランス語学科卒業。



許 光英 (きよ みつひで)

株式会社 電通PRコンサルティング
コーポレートコミュニケーション戦略局
パブリックアフェアーズ戦略部 シニア・チーフ・コンサルタント

1991年富士ゼロックス株式会社入社。ビジネスコンサルティングとドキュメントソリューションサービスに従事。1996年電通パブリックリレーションズ（現電通PRコンサルティング）入社。パブリックアフェアーズ、リスクマネジメント、デジタルコミュニケーションなどのプロジェクトを歴任。

近時は国際情勢分析、経営トップのコミュニケーション、メディア対応などを手がけている。

慶應義塾大学文学部（社会学）、ペンシルバニア大学国際関係学部卒業。



セミナー参加費用

無料

本ご案内を差し上げた企業の皆さまのみを対象としてセミナーを実施させていただきます。

参加申し込み

下記メールアドレス宛てに事前にお申し込みください

企業名、部署名、氏名、参加人数、参加者のメールアドレス、
【当日配信】参加希望または【見逃し配信】希望 をお知らせください。

セミナー前日に参加・視聴用URLをご連絡いたします。

【申し込み先】 kantaro.kubo@dentsuprc.co.jp

申し込み締切

10月21日（金） 12:00まで

お問い合わせ先
および当日連絡先

- セミナーに関するお問い合わせ先（10月24日当日のみ）
電通PRコンサルティング パブリックアフェアーズセミナー担当：中（あたり）・久保（くぼ）

Tel:090-6470-2088

電通PRコンサルティングの考える「パブリックアフェアーズ」とは

電通PRコンサルティングがご提供するパブリックアフェアーズ（PA）サービスは、3つのステップに分けることができます。まずステップ1として、世論や政策と対話していく上で欠かせない、PA活動における「社会価値」を定義します。お客さまの商品・サービスがどのようなストーリーであれば「世論の支持を得られるのか」を明確にします。ステップ2では、インフルエンサーやルールメーカー（政治家、官僚）を説得するための「エビデンス開発」を行います。ステップ3では「エンゲージメント」として、ルールメーカーやインフルエンサーへ実際にアプローチを行い、信頼関係を構築しながら対話活動を行います。

- 弊社パブリックアフェアーズ関連メニューシートは以下記載のURLもしくはQRコードより専用フォームにアクセスいただき、必要情報を入力の上、ダウンロードいただけます。

・ダウンロードURL：

<https://prx.dentsuprc.co.jp/WP/09>

・QRコード

